

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	観光型ホテル （商品企画担当）	単価の動き	・前年同月と比較して来客数、売上額とも上昇している。
	やや良くなっている	一般小売店〔衣料・雑貨〕（店長）	来客数の動き	・昨年に比べて来店する観光客の数が増加している。
			単価の動き	・3か月前に比べ客単価が1ポイント弱上昇しており、対前年比でも1ポイント上昇している。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上高が上昇している。
			来客数の動き	・熱暑の影響で来客数が大幅に増加している。
		家電量販店（副店長）	販売量の動き	・来客数、売上額、客単価ともに3か月前と比較して、上昇傾向にある。その要因としては猛暑によりエアコンの販売台数が増加し、パソコン関連機器の売上が比較的順調に推移したことが挙げられる。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・夏場の沖縄の夜時間の長さなど、ニーズに合わせて営業時間を5時に延長したところ、来客数が10%増加している。
		都市型ホテル（マーケティング担当）	来客数の動き	・今月の後半から夏休みということもあり、県外からの観光客が増加していることから、売上額は上昇している。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・国内旅行は順調に推移しており、海外旅行についても、SARSの影響から少しずつ従来の状況に戻りつつある。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・4月には前年同月比で約10%減少した来客数が、7月は10%ほど増加している。
	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・従来、低単価傾向にあり、その中で価格値下げを据え置いていたのだが、低料金にしたところ来客数が増加している。	
	変わらない	一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）	お客様の様子	・客はできるだけ良い物を安く買うという姿勢が強く、買う決心、決断には非常に慎重である。
			販売量の動き	・季節商品の導入時期においては、販売数は順調に推移したが、実売期に入ると競合店へ客が分散し、販売数、来客数ともに減少している。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数が前年比で90%台となっている店舗が増えている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・目的買いの多いコンビニだが、本当に必要なものしか購入しない傾向が強くなっており、衝動買いを誘う販促イベントなどを展開しても、なかなか売上に結びつかない。 ・単品購入が多くなっている。
		衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・客の動向として本当に必要なものしか買わない傾向にあり、また、少しでも安くという声が定着化している。
その他専門店〔楽器〕（経営者）		お客様の様子	・周辺商店街の来客として観光客は増加しているものの、地元客が減少傾向にある。観光客は順調に増加しており、売上も好調なのだが、地元客の売上額減少が続いている。	
高級レストラン（副支配人）		来客数の動き	・那覇市内の来客数の減少が続いている。特に当店の対象となる団体観光客は減少しており、個人観光客が増加している。	
住宅販売会社（従業員）		お客様の様子	・例年、夏場の展示場への来客数は低調で、その他のイベントへ流れる傾向があり、今年も同様の傾向となっている。 ・マイホーム取得層が限定されつつあり、年収、返済比率など資金調達能力に対し金融機関も慎重になっている。	
やや悪くなっている	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・販売量はさほど変わらないが、セールス時の値下げ率をかなり大きくして販売をしている店が、結構多く見られる。	

	悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・中心商店街の中は観光客の来客はあるものの、近辺に住んでいる地元客は、周辺的大型店に流れているように減少している。観光客に関しても、来客数はあるものの、買上数、消費額は下落している。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新店舗やリニューアル店舗のオープン、中元シーズン、クーラー等の入荷等々で例年になく物量が増加している。
		通信業（従業員）	受注量や販売量の動き	・オープンソースによるシステム構築を検討する案件が若干増えている。
	変わらない	通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・引き合い案件は定期的にあるものの、旧サービスから安価な新サービスへの切り替えが大半を占めることから、全体として売上増にはつなげていない。
	やや悪くなっている	建設業（経営者）	取引先の様子	・取引先の業者、問屋などが、資材が売れないとぼやく数が増えている。
不動産業（支店長）		受注量や販売量の動き	・問い合わせ件数や成約件数が減少している。	
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている			
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は一般求人が前年同月比で60.7%増、パート求人が110.6%と大幅に増加している。雇用形態が臨時、契約社員の人材派遣会社からの請負求人が増加しており、また、一般求人は短期雇用のパートへの切り替えが目立つなど雇用慣行に変化がみられる。
				・主婦層や母子家庭の求職者が希望する土日休暇や時間帯、企業が求める技能・経験等の双方の条件においてミスマッチが生じている。 ・有効求人倍率は0.36倍で、3か月前より0.48ポイント減少している。
やや悪くなっている				
悪くなっている	-	-	-	